

特定工作物解体等工事実施届出書

石綿に関する工事建築物の解体工事届出方法と様式

下記の工事・作業には事前の届出が必要です！

1. 飛散性石綿を使用した建築物・工作物の解体・改修・補修作業
2. 解体する建築物の延床面積が80m²以上で、その建築物に非飛散性石綿含有材料が使用されている場合
3. 石綿の有無にかかわらず、解体する建築物の延床面積が1,000m²以上の場合

※ なお、これらの届出を行わずに工事・作業を行った場合、次の罰則がありますのでご注意ください。

- 大気汚染防止法による届出を行わなかった場合
…………… 3月以下の懲役又は30万円以下の罰金（法第18条の17、第34条）
- 隔離等をせずに吹付石綿の除去を行う等、正しい方法で作業が実施されていない場合
…………… 3月以下の懲役又は30万円以下の罰金（法第18条の19、第34条）
- 県条例による届出を行わなかった場合
…………… 10万円以下の罰金(県条例57条第1項、164条)

本冊子及び様式類は明石市のホームページ（<http://www.city.akashi.lg.jp>）からもダウンロードできます。

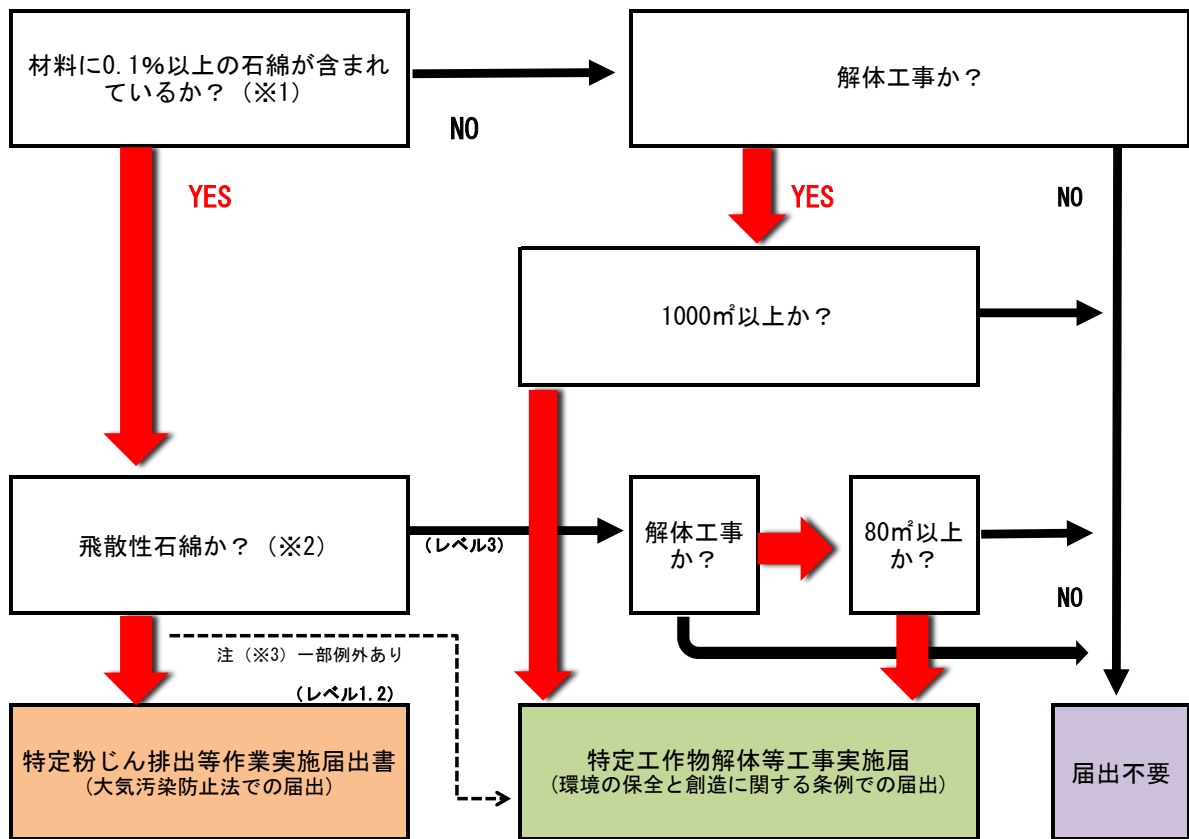
【問合せ先】 明石市 環境産業局 環境室 環境保全課

〒674-0053 明石市大久保町松陰 1131

TEL:078-918-5030

FAX:078-918-5107

必要な届出をチェックするフロー図



特定建築材料 (※1)

・特定建築材料とは、吹付け石綿、石綿を含有する断熱材、保温材及び耐火被覆材、石綿含有成型板等、石綿含有仕上塗材（石綿が質量の0.1%を超えて含まれているもの）のことです。

環境省Webページ (https://www.env.go.jp/air/asbestos/litter_ctrl/)

特定建築材料の具体例：「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」P.17より

吹付け石綿	①吹付け石綿、②石綿含有吹付けロックウール(乾式・湿式)、 ③石綿含有ひる石吹付け材、④石綿含有パーライト吹付け材
石綿を含有する断熱材 (吹付け石綿を除く)	①屋根用折版裏断熱材、②煙突用断熱材
石綿を含有する保温材 (吹付け石綿を除く)	①石綿保温材、②石綿含有けいそう土保温材、 ③石綿含有パーライト保温材、④石綿含有けい酸カルシウム保温材、 ⑤石綿含有ひる石保温材⑥石綿含有水練り保温材
石綿を含有する耐火被覆材	①石綿含有耐火被覆材、②石綿含有けい酸カルシウム板第二種、
石綿を含有する仕上塗材	①石綿含有建築用仕上塗材
石綿含有成型板等	①石綿含有成型板、②石綿含有セメント管、③押出成形品

特定石綿含有材料 (※2)

・環境の保全と創造に関する条例施行規則第15条3項

条例第57条第1項に規定する規則で定める石綿を含む建設材料は、次に掲げる建設材料とする。

(1) 石綿を吹き付けられた建設材料

(2) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則（昭和46年厚生省令第35号）第1条の2第9項第2号イからニまでに掲げる保温材、断熱材及び耐火被覆材

注 (※3)

配管エルボーの切除など、石綿に接触せず、石綿の飛散の恐れがない場合は県条例で届出ること。

● 届 出 先

- 特定粉じん排出等作業実施届出書
- 特定工作物解体等工事実施届

明石市 環境産業局 環境室 環境保全課

〒674-0053

明石市大久保町松陰 1131 明石クリーンセンター内 2 F

TEL : 918-5030、FAX : 918-5107

明石市環境保全課の場所



●自動車でお越しの場合

<国道 二号線から >

大久保東交差点北上 1,200m、北高交差点北上 1,000m、第2神明道路高架をくぐり、すぐに左折 600m、明石クリーンセンター看板右折 600m

<大久保インターから>

インター出たすぐの信号左折、大久保団地西交差点左折 600m、歩道橋手前交差点左折 1,200m、突き当たりの信号左折、第2神明道路高架をくぐりすぐに左折 600m、明石クリーンセンター看板右折 600m

※公共交通機関でお越しの方は、JR大久保駅からタクシーをご利用ください。

届出書類

特定石綿含有材料の除去工事、非飛散性石綿建材使用の建築物解体、
1,000 m²以上の建築物解体

届出の名称	特定工作物解体等工事実施届
届出が必要となる工事 (1、2、3のいずれか)	1. 特定石綿含有材料 ^{※1} を使用する建築物・工作物の解体・改修工事 (注意!) <u>配管エルボの切除など、石綿に接触せず、石綿の飛散のおそれのない場合に限ります。</u> 詳しくはお問合せ下さい。 2. 石綿の有無にかかわらず解体する建築物の床面積の合計が1,000 m ² 以上 3. 解体する建築物の床面積の合計が80 m ² 以上で、その建築物に非飛散性石綿含有材料 ^{※2} が使用されている場合
届出の根拠	<ul style="list-style-type: none">兵庫県・環境の保全と創造に関する条例第57条(届出義務)同施行規則第15条(届出書類、届出が必要な工事)

※1 特定石綿含有材料

①吹付け石綿、②石綿保温材、③けいそう土保温材、④パーライト保温材、
⑤人の接触、気流及び振動等により①～④に挙げるものと同等以上に石綿が
飛散するおそれのある保温材

※2 非飛散性石綿含有材料

石綿をその重量の0.1%を超えて含有する下記のような建設材料。

(例) カラーベスト、サイディングボード、ビニール床タイル、石綿スレート、
石綿セメント、けい酸カルシウム板(※天井、壁に使用されるもの) 等

【根拠条文】 県条例施行規則第15条第2項

石綿：アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト

特定工作物解体等工事実施届出書について

● 作成する届出書類

以下の届出書類と添付書類を1セットにして、2部作成してください。
(受付後、1部は控えとしてお返しします。)

届出書類	条例施行規則第15条（様式第14号） 「特定工作物解体等工事実施届出書」 （記入例： P.8）
	別紙：防じんシート・散水等の方法について （記入例： P.9）
添付資料	解体等工事に係る事前調査説明書面 （発注者へ説明した書面の写し） （記入例：P.10.11）
	作業計画書 （①工事概要②石綿含有建材除去等作業③石綿飛散防止措置④工事の工程表 ⑤施工体制） （記入例：P.12.13,14,15,17,19）
	施工確認書 ・建築物の概要 ・粉塵の飛散防止対策等 ・施工計画 （作業計画書との重複箇所もありますが別途提出お願いします。） （記入例： P.16）
	施工範囲図 （様式はありません、必要に応じ任意の形で提出願います） ・付近見取り図 （住宅地区等） ・施工場所平面図（主要寸法、石綿含有成型板等の使用箇所、散水の取り出し箇所等を記入） （記入例： P.18） ・作業場の隔離状況及び前室の設置状況を示す見取図 （主要寸法、隔離された作業場や前室等） ※必要な場合のみ（例：配管エルボ部を直線部で切断、ケイカル板第一種を破砕、仕上げ塗材を電動工具で除去、等）
	標識の写し（事前調査の結果、建築物等の解体・改修工事のお知らせ） （記入例： P.20）

※ 注意！

作業者の個人情報に記載された資料は添付しないでください。

● 届出期日

解体工事開始日の8日以上前に届出して下さい。

※ 県条例第 57 条：作業開始日と届出日の間には 7 日間必要

● 特定粉じん排出等作業の作業基準

特定建築材料が使用されている建築物等の解体、改造、補修する際には、作業の種類ごとに遵守しなければならない「作業基準」が定められています。

<大気汚染防止法施行規則別表第7>

①	(レベル1、2) 特定建築材料が使用されている建築物等を解体する作業のうち、吹付け石綿及び石綿含有断熱材等を除去する作業(②又は⑤の項に掲げるものを除く。)		次に掲げる事項を遵守して作業の対象となる建築物等に使用されている特定建築材料を除去するか、又はこれと同等以上の効果を有する措置を講ずること。
		イ	特定建築材料の除去を行う場所(以下「作業場」という。)を他の場所から隔離すること。隔離に当たっては、作業場の出入口に前室を設置すること。
		ロ	作業場及び前室を負圧に保ち、作業場及び前室の排気に日本産業規格 Z8122 に定めるHEPAフィルタを付けた集じん・排気装置を使用すること。
		ハ	イの規定により隔離を行った作業場において初めて特定建築材料の除去を行う日の当該除去の開始前に、使用する集じん・排気装置が正常に稼働することを使用する場所において確認し、異常が認められた場合は、集じん・排気装置の補修その他の必要な措置を講ずること。
		ニ	特定建築材料の除去を行う日の当該除去の開始前及び中断時に、作業場及び前室が負圧に保たれていることを確認し、異常が認められた場合は、集じん・排気装置の補修その他の必要な措置を講ずること。
		ホ	除去する特定建築材料を薬液等により湿潤化すること。
		ヘ	イの規定により隔離を行った作業場において初めて特定建築材料の除去を行う日の当該除去の開始後速やかに、及び特定建築材料の除去を行う日の当該除去の開始後に集じん・排気装置を使用する場所を変更した場合、集じん・排気装置に付けたフィルタを交換した場合その他必要がある場合に随時、使用する集じん・排気装置の排気口において、粉じんを迅速に測定できる機器を用いることにより集じん・排気装置が正常に稼働することを確認し、異常が認められた場合は、直ちに当該除去を中止し、集じん・排気装置の補修その他の必要な措置を講ずること。
		ト	特定建築材料の除去後、作業場の隔離を解くに当たっては、特定建築材料を除去した部分に特定粉じんの飛散を抑制するための薬液等を散布するとともに作業場内の清掃その他の特定粉じんの処理を行った上で、特定粉じんが大気中へ排出され、又は飛散するおそれがないことを確認すること。

②	<p>(レベル2)</p> <p>特定建築材料が使用されている建築物等を解体する作業のうち、石綿を含有する断熱材、保温材及び耐火被覆材を除去する作業であって、特定建築材料をかき落とし、切断、又は破砕以外の方法で除去するもの(⑤の項に掲げるものを除く。)</p>	次に掲げる事項を遵守して作業の対象となる建築物等に使用されている特定建築材料を除去するか、又はこれと同等以上の効果を有する措置を講ずること。	
		イ	特定建築材料の除去を行う部分の周辺を事前に養生すること。
		ロ	除去する特定建築材料を薬液等により湿潤化すること。
		ハ	特定建築材料の除去後、養生を解くに当たっては、特定建築材料を除去した部分に特定粉じんの飛散を抑制するための薬液等を散布するとともに作業場内の清掃その他の特定粉じんの処理を行うこと。
③	<p>(レベル3)</p> <p>特定建築材料が使用されている建築物等を解体、改造又は補修する作業のうち、石綿を含有する仕上塗材を除去する作業(⑤の項に掲げるものを除く。)</p>	次に掲げる事項を遵守して作業の対象となる建築物等に使用されている特定建築材料を除去するか、又はこれと同等以上の効果を有する措置を講ずること。	
		イ	除去する特定建築材料を薬液等により湿潤化すること。(ロの規定により特定建築材料を除去する場合を除く。)
		ロ	電気グラインダーその他の電動工具を用いて特定建築材料を除去するときは、次に掲げる措置を講ずること。 (1) 特定建築材料の除去を行う部分の周辺を事前に養生すること。 (2) 除去する特定建築材料を薬液等により湿潤化すること。
		ハ	特定建築材料の除去後、作業場内の特定粉じんを清掃すること。この場合において、養生を行ったときは、当該養生を解くに当たって、作業場内の清掃その他の特定粉じんの処理を行うこと。
④	<p>(レベル3)</p> <p>建築物等を解体、改造又は補修する作業のうち、石綿を含有する成形板その他の建築材料(吹付け石綿、石綿含有断熱材等及び石綿を含有する仕上塗材を除く。この項の下欄において「石綿含有成形板等」という。)を除去する作業(1の項から3の項まで及び5の項に掲げるものを除く。)</p>	次に掲げる事項を遵守して作業の対象となる建築物等に使用されている特定建築材料を除去するか、又はこれと同等以上の効果を有する措置を講ずること。	
		イ	特定建築材料を切断、破砕等することなくそのまま建築物等から取り外すこと。
		ロ	イの方法により特定建築材料(ハに規定するものを除く。)を除去することが技術上著しく困難なとき又は特定建築材料が使用されている建築物等を改造し、又は補修する作業に該当するものとして行う作業の性質上適しないときは、除去する特定建築材料を薬液等により湿潤化すること。
		ハ	石綿含有成形板等のうち、特定粉じんを比較的多量に発生し、又は飛散させる原因となるものとして環境大臣が定めるもの(石綿を含有するけい酸カルシウム板第一種)にあつては、イの方法により除去することが技術上著しく困難なとき又は特定建築材料が使用されている建築物等を改造し、又は補修する作業に該当するものとして行う作業の性質上適しないときは、次に掲げる措置を講ずること。 (1) 特定建築材料の除去を行う部分の周辺を事前に養生すること。 (2) 除去する特定建築材料を薬液等により湿潤化すること。

		ニ	特定建築材料の除去後、作業場内の特定粉じんを清掃すること。この場合において、養生を行ったときは、当該養生を解くに当たって、作業場内の清掃その他の特定粉じんの処理を行うこと。
⑤	建築物等を解体する作業のうち、人が立ち入ることが危険な状態の建築物等を解体する作業その他の建築物等の解体に当たりあらかじめ特定建築材料を除去することが著しく困難な作業		作業の対象となる建築物等に散水するか、又はこれと同等以上の効果を有する措置を講ずること。
⑥	(レベル1、2) 建築物等を改造又は補修する作業のうち、吹付け石綿及び石綿含有断熱材等に係る作業		次に掲げる事項を遵守して作業の対象となる建築物等の部分に使用されている特定建築材料を除去若しくは囲い込み等を行うか、又はこれらと同等以上の効果を有する措置を講ずること。
		イ	特定建築材料をかき落とし、切断又は破砕により除去する場合は一の項下欄イからトまでに掲げる事項を遵守することとし、これら以外の方法で除去する場合は二の項下欄イからハまでに掲げる事項を遵守すること。
		ロ	特定建築材料の囲い込み等を行うに当たっては、当該特定建築材料の劣化状態及び下地との接着状態を確認し、劣化が著しい場合又は下地との接着が不良な場合は、当該特定建築材料を除去すること。
		ハ	吹付け石綿の囲い込み若しくは石綿含有断熱材等の囲い込み等(これらの建築材料の切断、破砕等を伴うものに限る。)を行う場合又は吹付け石綿の封じ込めを行う場合は、一の項下欄イからトまでの規定を準用する。この場合において、「除去する」とあるのは「囲い込み等を行う」と、「除去」とあるのは「囲い込み等」と読み替えることとする。

条例独自の作業基準について

(条例で規制対象となる解体等工事を行う場合は、法の作業基準に加えて、以下の飛散防止基準を遵守する必要があります。)

1	防じんシートその他の資材で、工事現場が覆われていること。
2	散水その他の方法により、工事現場が湿潤化されていること。
3	石綿を湿潤化するために行う散水その他の措置により石綿を含む水を排出するときは、ろ過処理その他の適切な措置が講じられていること。
4	特定石綿含有材料(レベル1,2)の封じ込め作業に当たっては、作業実施前に石綿粉じんの飛散を抑制するための薬液等の接着性、浸透性等の性能を確認し、適正なものを使用すること。囲い込み作業において石綿粉じんの飛散を抑制するための薬液等を使用するときも同様とすること。
5	撤去された非飛散性石綿含有材料(レベル3)の車両への積み込みにおいても石綿粉じんの飛散防止措置が講じられていること。

届出日を記入
(工事開始の7日前までに)

記入例

特定工作物解体等工事実施届

〇年 〇月 〇日

明石市長 様

元請け業者

届出者 住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）

〒〇〇〇-〇〇 〇〇市〇〇町〇〇 〇〇ビル

氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

〇〇建設株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇

電子メール 〇〇@〇〇〇.〇〇

担当者氏名

工務課 〇〇 〇〇

電話 (000) 000 — 0000番

工事全体の名称

特定工作物解体等工事の名称	〇〇ビル 解体工事	
特定工作物解体等工事に係る工作物の種類	用途	商業ビル
	構造・階数	SRC造 ・7階
特定工作物解体等工事の種類	(2) 石綿含有材料を使用する部分を含む建築物等の解体の工事	
建築物にあつては、解体する部分の床面積の合計	1500㎡	
特定石綿含有材料の使用の有無	有	無
特定工作物解体等工事の場所	明石市〇〇町〇〇 〇〇-〇〇	
特定工作物解体等工事の実施の期間	自	〇年 〇月 〇日
	至	〇年 〇月 〇日
粉じんの処理又は飛散の防止の方法	別紙のとおり	
発注者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあつては、その代表者の氏名	〇〇市〇〇町〇〇 〇〇-〇〇 〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇 電話 (〇〇) 〇〇-〇〇番 電子メール	
下請負人が工事を実施する場合は、当該下請負人の氏名又は名称及び住所並びに法人にあつては、その代表者の氏名	〇〇市〇〇町〇〇 〇〇-〇〇 〇〇建設株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇 電話 (〇〇) 〇〇-〇〇番 電子メール	
備考		

飛散性石綿がある場合は「有」を選択

注 「特定工作物解体等工事の種類」の欄は、次の種類の別を記入してください。

- (1) 石綿含有材料を使用しない建築物の解体の工事
- (2) 石綿含有材料を使用する部分を含む建築物等の解体の工事
- (3) 特定石綿含有材料を使用する部分を含む建築物等の改修の工事

別紙

すべての粉じんに係る共通事項	防じんシート等の設置方法		建屋周囲へ足場を建て防じんシートを設置する	
	散水等の方法		敷地内散水栓から散水を実施する	
石綿粉じんに係る事項	特定石綿含有材料の処理方法		除去 ・ 封じ込め ・ 囲い込み (使用面積 m ² 使用部分：別添図面のとおり)	
	散水その他の措置により石綿を含む水を排出するときは、排水の処理方法			
	施工区画の隔離方法			
	隔離した施工区画の換気方法	施工区画の容積	m ² ×高さ	m = m ³
		換気装置の換気能力	m ³ /時×	台 = m ³ /時
		1時間当たりの換気回数	換気能力÷施工区画の容積=回/時	
		換気装置の設置場所	別添図面のとおり	
	隔離した施工区画の集じん方法	集じん機の種類・型式		
		集じん機の効率		
	清掃の方法		掃除機(HEPA)	
標識		別添のとおり		
その他				

石綿含有成型板等の場合は記入不要

A 4

注 この届出各欄に定めるもののほか、付近の見取図、建築物その他の工作物の配置図（解体又は改修の工事を行う部分の位置を記入したもの）及び工事の工程表を添付してください。

A 4

記入例

(元請業者(受注者)が作成及び発注者に説明する場合)

○年 ○月 ○日

解体等工事に係る事前調査説明書面

発注者 住所 明石市○○町○○ ○○-○○

氏名(法人にあっては名称及びその代表者の氏名)

○○ハウス株式会社 代表取締役社長 ○○ ○○ 様

元請業者 住所 ○○市○○町○○ ○○-○○

(受注者) 氏名 ○○株式会社 代表取締役社長 ○○ ○○

(法人にあっては、名称及びその代表者の氏名)

電話番号 ○○○-○○○-○○

大気汚染防止法第18条の15第1項に基づく石綿使用の有無に関する事前調査結果について下記のとおり説明します。

解体等工事(建設工事)の場所	明石市○○町○○ ○○-○○ (解体等工事(建設工事)の名称) 木造住居解体工事		
解体又は改造・補修着手年月日	○年 ○月 ○日	延床面積	300㎡
解体等工事の種類	解体 改造・補修	階数	2階建
建築物等の竣工年	昭和・平成 ○○年		
建築物等の概要	<input checked="" type="checkbox"/> 建築物 (<input type="checkbox"/> 耐火 <input type="checkbox"/> 準耐火 <input type="checkbox"/> その他 ()) (<input checked="" type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> RC造 <input type="checkbox"/> S造 <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> その他工作物		
事前調査を行った者及び登録番号並びに当該者が登録規定に基づく講習を受講した講習実施機関の名称等	氏名 ○○ ○○	登録番号 ○○○○○	令和5年10月1日から、一定の知見を有する者(建築物石綿含有建材調査者等)が行う必要があります。
調査を終了した年月日	○年 ○月 ○日		
調査の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 書面 <input checked="" type="checkbox"/> 目視 <input checked="" type="checkbox"/> 分析 <input type="checkbox"/> その他 ()		
調査の結果	特定建築材料(石綿含有建築材料)の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 石綿有又は石綿みなし有(詳細は別紙1のとおり) <input type="checkbox"/> 石綿無	
	破壊しないと調査できない場所であって、解体等が始まる前に確認できなかった場所		
建築物等の階、部屋及び部位ごとの特定建築材料(石綿含有建築材料)の使用の有無	別紙△のとおり		
事前調査の揭示	設置予定年月日	○年 ○月 ○日	
	設置場所	別紙△のとおり	
届出の要否	1 大気汚染防止法第18条の17第1項(第2項)に基づく届出 要・不要 2 兵庫県環境の保全と創造に関する条例第57条に基づく届出 要・不要		

備考 1 特定建築材料(石綿含有建築材料)が有り、特定粉じん排出等作業(石綿排出等作業)に該当する場合は別紙1を添付すること。
 2 工事中に特定建築材料(石綿含有建築材料)を見つけた場合、再度説明すること。

元請業者からこの書面の説明を受けました。 発注者氏名(法人にあっては名称並びに説明を受けた者の職及び氏名) ○年 ○月 ○日 ○○ ○○
発注者へこの書面の説明を行いました。 元請業者氏名(法人にあっては名称並びに説明を行った者の職及び氏名) ○年 ○月 ○日 ○○ ○○

特定粉じん排出等作業 の概要 石綿排出等作業

特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の種類	1 吹付け石綿、石綿含有保温材、石綿含有耐火被覆材又は石綿含有断熱材に係る作業 (1) 解体作業 (2) 石綿含有建築材料を掻き落とし、切断し、又は破砕すること以外の方法で除去する解体作業 (3) 石綿含有建築材料の事前除去が著しく困難な解体作業 (4) 改造又は補修の作業 ② 石綿含有仕上塗材に係る作業 ③ 石綿含有成形板等（石綿含有成形板）に係る作業
特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の実施の期間	自 ○年 ○月 ○日 至 ○年 ○月 ○日
特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の対象となる建築物等の部分における特定建築材料（石綿含有建築材料）の種類並びにその使用箇所及び使用面積	1 吹付け石綿 (, m ²) 2 石綿を含有する保温材 (, m ²) 3 石綿を含有する耐火被覆材 (, m ²) 4 石綿を含有する断熱材 (, m ²) 5 石綿を含有する仕上塗材 (上塗り塗材 , 100m ²) 6 石綿を含有する成形板等（成形板） (カラーベスト、100m ²) 詳細は別紙 3 のとおり
特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の方法	除去 囲い込み・封じ込め・その他 ()
特定粉じん排出等作業の方法が法第 18 条の 19 各号に掲げる措置を当該各号に定める方法により行うものでないときは、その理由	
特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の対象となる建築物等の配置図及び付近の状況	別紙 のとおり
特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の工程を明示した特定工事（特定排出等工事）の工程の概要	別紙 のとおり
作業の指示	設置予定年月日 ○年 ○月 ○日
	設置場所 別紙 のとおり
特定工事（特定排出等工事）の元請業者（施工する者）の現場責任者の氏名及び連絡場所	○○株式会社○○課 ○○ ○○ 電話番号 ○○○-○○○-○○
下請負人が特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）を実施する場合の当該下請負人の現場責任者の氏名及び連絡場所	○○建設株式会社○○課 ○○ ○○ 電話番号 △△△-△△△-△△

備考 1 解体等工事が特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）に該当する場合に作成すること。
 2 特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の対象となる建築物等の配置図、付近の状況、特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）工程を明示した特定工事（特定排出等工事）の工程の概要については、計画している作業方法等がわかるものを添付すること（作業工程を示す日程表、図面等）。

作業計画書(例)

○ ビル解体工事

元請：○○建設工業株式会社

1. 工事概要

(1) 工事名称

〇〇ビル解体工事

(2) 工事場所

明石市〇〇町〇丁目△番〇号

(3) 工事期間

自 令和〇年〇〇月〇〇日 ~ 至 令和〇年〇〇月〇〇日

(4) 発注者

(株)〇〇不動産 代表取締役社長 〇〇
明石市〇〇町〇丁目〇番〇号

(5) 現場案内図

別紙「付近見取り図」参照

2. 石綿含有建材除去等作業

(1) 特定粉じん排出等作業の種類

除去：屋根のスレートを割らないように外し搬出する。割らざるを得ない箇所は薬品で湿潤化し飛散防止を図る

(2) 特定粉じん排出等作業の実施の期間

自 令和〇〇年〇〇月〇〇日 ~ 至 令和〇〇年〇〇月〇〇日

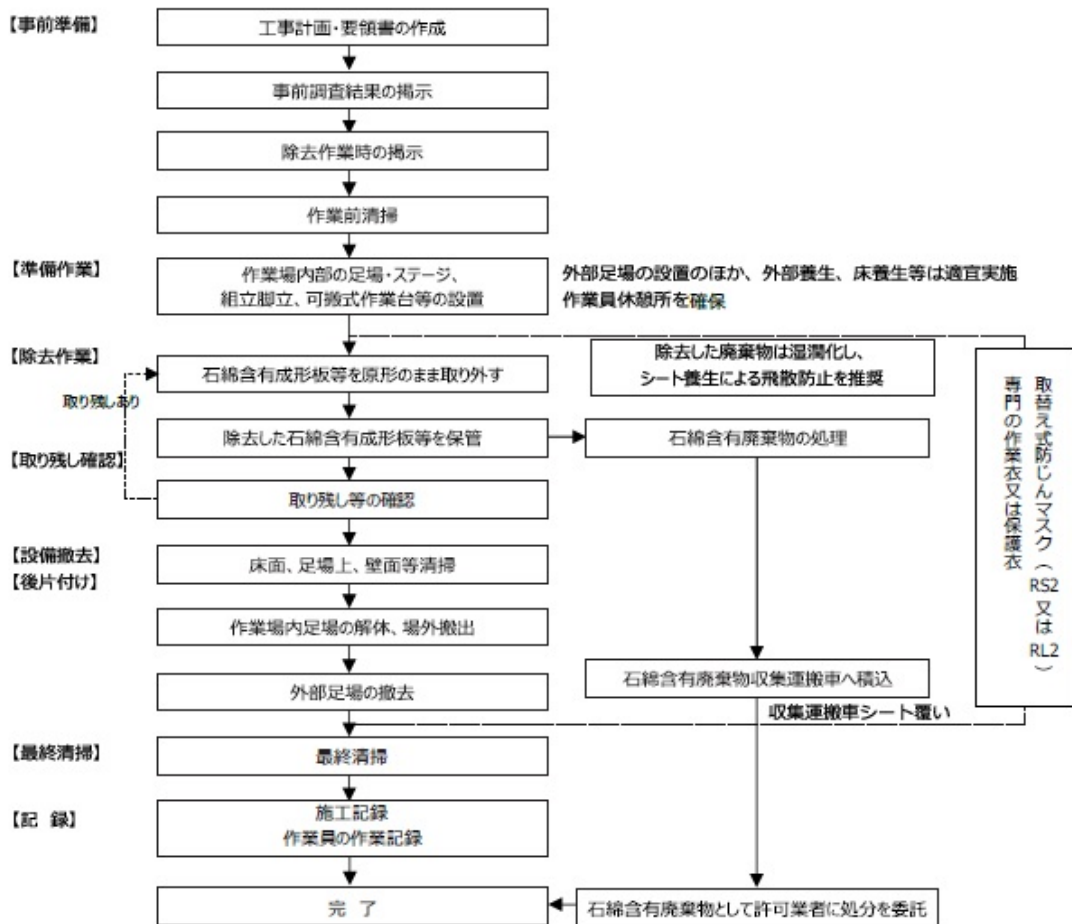
(3) 特定粉じん排出等作業の対象となる建築物等の部分における石綿含有建材の種類並びにその使用箇所及び使用面積

別紙「施工確認書」参照

3. 石綿飛散防止措置

(1) 特定粉じん排出等作業の方法

○石綿含有成形板等（けい酸カルシウム板第1種を含む）を原形のまま取り外して除去する場合の作業手順



・作業手順を変更した場合

作業計画を修正のうえ、現場に備え付けている作業計画を差し替え、作業員及び下請業者に周知する。

(2) 特定粉じん排出等作業の対象となる建築物等の概要

別紙「施工確認書」参照

(3) 配置図及び付近の状況

別紙「現場図面」参照

4. 工事の工程表

○特定粉じん排出等作業の工程を明示した建設工事の工程の概要
別紙「工事工程表」参照

5. 施工体制

(1) 元請業者（特定工事を施工する者）

○建設工業株式会社

明石市○○町○丁目○番○号

連絡先 Tel : 078—○○○—○○○○

現場責任者 : ○○ ○○

連絡先 Tel : ○○○—○○○—○○○○

(2) 下請業者（下請負人が特定粉じん排出等作業を実施する場合）

石綿除去工事業者

○建設株式会社

明石市○○町○丁目○番○号

連絡先 Tel : 078—○○○—○○○○

現場責任者 : ○○ ○○

連絡先 Tel : ○○○—○○○—○○○○

(3) 体制図

別紙「施工体制図・緊急時連絡網」参照

記入例

施工確認書

1 建築物の概要

建築年、延べ床面積	<input checked="" type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 56年、 200 m²		
構造	<input checked="" type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄骨鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック造 <input type="checkbox"/> その他()		
特定石綿含有材料 (吹付け石綿等)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 吹付け石綿 <input type="checkbox"/> 石綿含有吹付けロックウール <input type="checkbox"/> 吹付けひる石(バーミキュライト) <input type="checkbox"/> パーライト吹付け <input type="checkbox"/> 石綿保温材 <input type="checkbox"/> その他()	
石綿含有成形板等 (石綿スレート等)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 屋根材 100m² 名称(カラーベスト) <input type="checkbox"/> 外壁材 m² 名称() <input type="checkbox"/> 内壁材 m² 名称() <input type="checkbox"/> 天井材 m² 名称() <input type="checkbox"/> 床材 m² 名称() <input checked="" type="checkbox"/> 石綿含有塗材等 100m² 名称(上塗り塗材) <input type="checkbox"/> その他 m² 名称()	

2 粉じんの飛散防止対策等

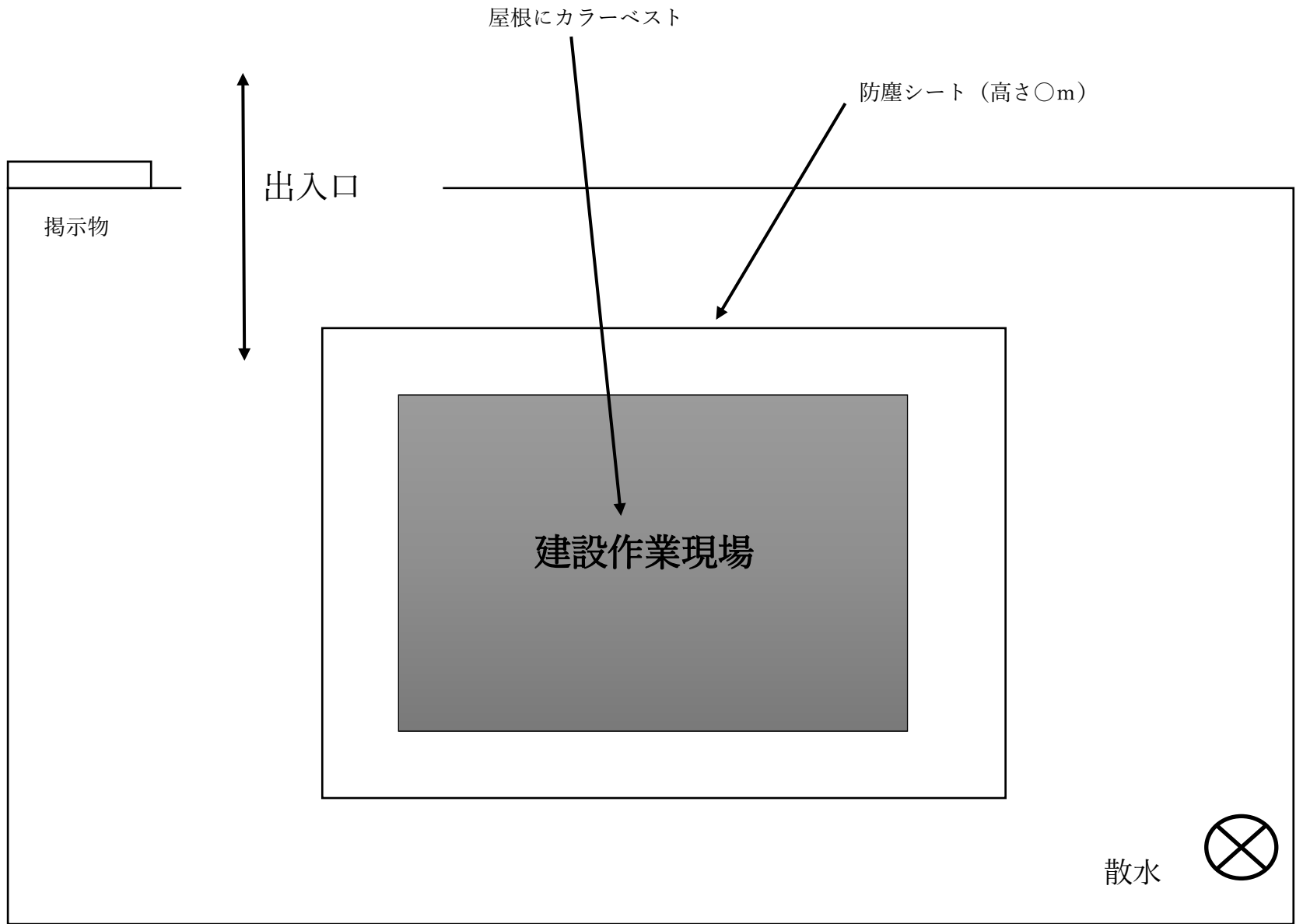
建築物の養生	<input type="checkbox"/> 防音シート <input checked="" type="checkbox"/> 防じんシート <input type="checkbox"/> その他() (※施工状況は別図のとおり)		
湿潤化	<input checked="" type="checkbox"/> 散水(※散水栓の位置は別図のとおり) <input type="checkbox"/> 薬液散布 名称() <input type="checkbox"/> その他()		
その他	上塗り塗材除去は集じんカバー付きディスクグラインダーを使用する。		

3 施工計画

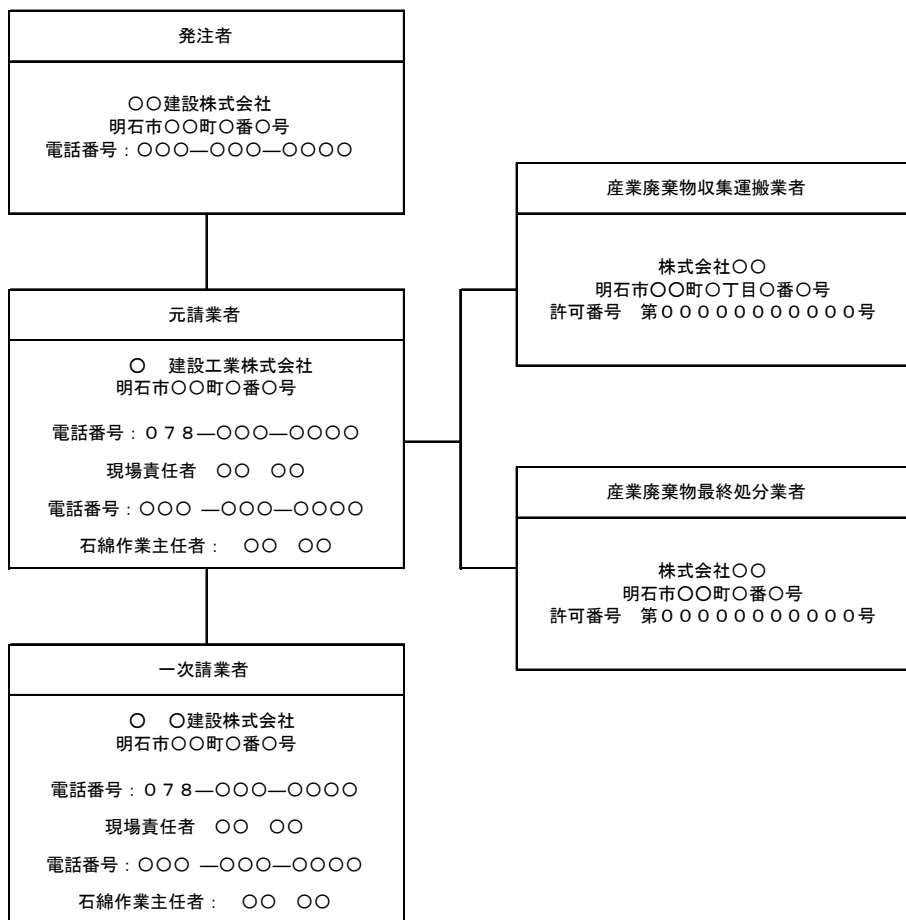
①	<input checked="" type="checkbox"/> 標識の掲示(※標識の写しは別紙のとおり) <input checked="" type="checkbox"/> 粉じんの飛散防止対策の実施		
②	石綿含有建材の撤去	<input type="checkbox"/> 手作業 <input checked="" type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用 併用する箇所(壁面) 併用する理由(集じん機付きの機材を使用し石綿の飛散を防止する)	
③	その他上部構造物の解体	<input type="checkbox"/> 手作業 <input checked="" type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用 <input type="checkbox"/> 機械作業	
④	基礎・基礎ぐいの解体	<input type="checkbox"/> 手作業 <input checked="" type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用 <input type="checkbox"/> 機械作業	
⑤	石綿含有建材撤去後の清掃	<input checked="" type="checkbox"/> 掃除機(HEPA) <input type="checkbox"/> その他()	
⑥	廃棄物の搬出等	<input checked="" type="checkbox"/> 原型のまま積込 <input checked="" type="checkbox"/> 袋詰 <input type="checkbox"/> シート掛け <input checked="" type="checkbox"/> 石綿含有成形板等であることの表示 <input type="checkbox"/> その他()	
作業順序 <input checked="" type="checkbox"/> 上記①→②→③→④→⑤→⑥のとおり <input type="checkbox"/> その他(→ → → →)			

3工程表(該当作業フロー項目期間を⇄で記入)

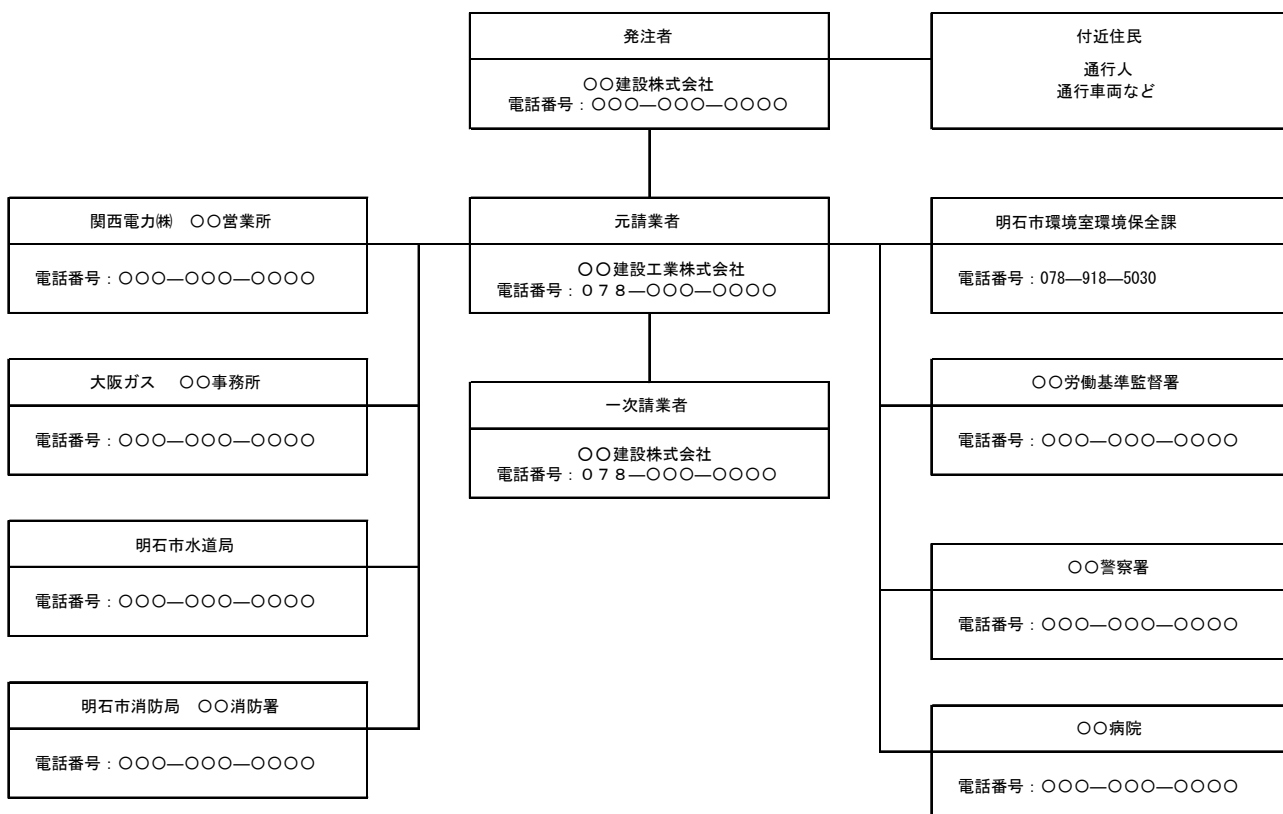
日付 作業 フロー項目	8月																																
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
事前準備	⇄																																
作業場所の隔離		⇄																															
準備工事				⇄																													
屋根の瓦を手作業で下す							⇄																										
上塗り材除去 (集じんカバー付きディスク グラインダー)									⇄			⇄																					
石綿含有廃棄物の搬出														⇄																			
家屋解体														⇄																			
一時集積																				⇄													
清掃・片付け																						⇄											



施工体制図



緊急時連絡網



建築物等の解体等の作業に関するお知らせ(記入例)

事業場の名称: ○○建設株式会社 ○○○○解体工事作業所			
調査終了年月日	令和○○年○○月○○日	発注者又は自主施工者	
看板表示日	令和○○年○○月○○日	氏名又は名称(法人にあっては代表者の氏名)	
解体等工事期間	令和○○年○○月○○日 ~ 令和○○年○○月○○日	○○不動産(株) 代表取締役社長 ○○ ○○	
石綿除去(特定粉じん排出)作業等の作業期間	令和○○年○○月○○日 ~ 令和○○年○○月○○日	住所	
調査方法の概要(調査箇所)		兵庫県○○市	
設計図書の確認 現場での目視及び石綿含有率の分析 (調査箇所) 1階~2階		元請業者(工事の施工者かつ調査者)	
調査結果の概要(部分と石綿含有建材(特定建築材料)の種類、判断根拠)		氏名又は名称(法人にあっては代表者の氏名)	
1階 外壁	石綿含有仕上塗材	クリソタイル	○○建設株式会社 代表取締役社長 ○○ ○○
1階 床	石綿含有成形板等(Pタイル)	石綿含有なし ②	住所
2階 床	ビニル床シート	石綿含有なし ⑤	兵庫県○○市
2階 壁	ケイ酸カルシウム板第1種	石綿含有なし ④	現場責任者氏名 ○○○○
屋上	カラーベスト	みなし	連絡場所 TEL ××-×××-××××
		△△△△ を石綿作業主任者に選任しています。	
		調査を行った者(分析等の実施者)	
		氏名又は名称及び住所	
		・事前調査・試料採取を実施した者	
		(資格名称) ○○○○	
		(氏名) ○○○○	
		(登録番号) ○○○○	
		(住所) ○○県○○市○○	
		・分析を実施した者	
		(所属等) ○○○○	
		(氏名・登録番号) ○○○○ ・ ○○○○	
		(住所) ○○県○○市○○	
石綿除去等作業(特定粉じん排出等作業)の方法		○数字は右下欄の「その他の事項」を参照	
石綿含有建材(特定建築材料)の処理方法	○除去 ○その他		
特定粉じんの排出又は飛散の抑制方法	(例)・剥離剤併用手工具ケレン工法。外周を養生シートで養生(隔離)し、除去を行う。 (例)集塵装置付きグラインダーを使用し除去 (例)・原形のまま手ばらし		
使用する資材及びその種類	・湿潤剤:○○○○、剥離剤:○○○○ ・養生用シート(厚さ:○mm) ・接着テープ 等		
備考:その他の条例等の届出年月日		その他の事項	
		調査結果の概要に示す「石綿含有なし」に記載された○数字は、以下に判断根拠を表す ①目視 ②設計図書 ③分析 ④材料製造者による証明 ⑤材料の製造年月日	

届出書類「特定工作物解体等工事実施届」は、
次のページの様式をコピーして作成してください。

特定工作物解体等工事实施届

年 月 日

明石市長 様

届出者 住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電子メール

担当者氏名

電話（ ） — 番

特定工作物解体等工事の名称			
特定工作物解体等工事に係る工作物の種額	用 途		
	構造・階数		
特定工作物解体等工事の種類			
建築物にあつては、解体する部分の床面積の合計	m ²		
特定石綿含有材料の使用の有無	有 ・ 無		
特定工作物解体等工事の場所			
特定工作物解体等工事の実施の期間	自	年 月 日	日間
	至	年 月 日	
粉じんの処理又は飛散の防止の方法	別紙のとおり		
発注者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあつては、その代表者の氏名	電話（ ） — 番 電子メール		
下請負人が工事を実施する場合は、当該下請負人の氏名又は名称及び住所並びに法人にあつては、その代表者の氏名	電話（ ） — 番 電子メール		
備 考			

注 「特定工作物解体等工事の種類」の欄は、次の種類の別を記入してください。

- (1) 石綿含有材料を使用しない建築物の解体の工事
- (2) 石綿含有材料を使用する部分を含む建築物等の解体の工事
- (3) 特定石綿含有材料を使用する部分を含む建築物等の改修の工事

別紙

すべての の粉じんに係る 共通事項	防じんシート等の設置方法			
	散水等の方法			
石綿粉 じんに 係る事 項	特定石綿含有材料の処理方法		除去 ・ 封じ込め ・ 囲い込み (使用面積 m^2 使用部分：別添図面のとおりに)	
	散水その他の措置により石綿を含む水を排出するときは、排水の処理方法			
	施工区画の隔離方法			
	隔離した 施工区画 の換気方法	施工区画の容積	$m^2 \times$ 高さ	$m = m^3$
		換気装置の換気能力	$m^3/時 \times$	台 = $m^3/時$
		1時間当たりの換気回数	換気能力 ÷ 施工区画の容積 = 回/時	
		換気装置の設置場所	別添図面のとおりに	
	隔離した 施工区画 の集じん方法	集じん機の種類・型式		
		集じん機の効率		
	清掃の方法			
標 識		別添のとおりに		
そ の 他				

A 4

注 この届出各欄に定めるもののほか、付近の見取図、建築物その他の工作物の配置図（解体又は改修の工事を行う部分の位置を記入したもの）及び工事の工程表を添付してください。

A 4

解体等工事に係る事前調査説明書面

発注者 住所

氏名（法人にあっては名称及びその代表者の氏名）

様

住所

元請業者

氏名

（受注者）

（法人にあっては、名称及びその代表者の氏名）

電話番号

大気汚染防止法第 18 条の 15 第 1 項に基づく石綿使用の有無に関する事前調査結果について下記のとおり説明します。

解体等工事（建設工事）の場所		(解体等工事（建設工事）の名称)	
解体又は改造・補修着手年月日		年 月 日	延床面積 m ²
解体等工事の種類		解体 改造・補修	階数 階建
建築物等の竣工年		昭和・平成 年	
建築物等の概要		<input type="checkbox"/> 建築物 (<input type="checkbox"/> 耐火 <input type="checkbox"/> 準耐火 <input type="checkbox"/> その他 ()) (<input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> RC造 <input type="checkbox"/> S造 <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> その他工作物	
事前調査を行った者及び登録番号並びに当該者が登録規定に基づく講習を受講した講習実施機関の名称等		氏名 登録番号	
		講習実施機関の名称 (<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特定 <input type="checkbox"/> 一戸建て等 <input type="checkbox"/> その他 ())	
調査を終了した年月日		年 月 日	
調査の方法		<input type="checkbox"/> 書面 <input type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 分析 <input type="checkbox"/> その他 ()	
調査の結果	特定建築材料（石綿含有建築材料）の有無	<input type="checkbox"/> 石綿有又は石綿みなし有（詳細は別紙 1 のとおり） <input type="checkbox"/> 石綿無	
	破壊しないと調査できない場所であって、解体等が始まる前に確認できなかった場所		
	建築物等の階、部屋及び部位ごとの特定建築材料（石綿含有建築材料）の使用の有無		
の 事前調査の 揭示	設置予定年月日	年 月 日	
	設置場所		
届出の要否		1 大気汚染防止法第 18 条の 17 第 1 項（第 2 項）に基づく届出（要・不要） 2 兵庫県環境の保全と創造に関する条例第 57 条に基づく届出（要・不要）	

備考 1 特定建築材料（石綿含有建築材料）が有り、特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）に該当する場合は別紙 1 を添付すること。
 2 工事中に特定建築材料（石綿含有建築材料）を見つけた場合、再度説明すること。

元請業者からこの書面の説明を受けました。 発注者氏名（法人にあっては名称並びに説明を受けた者の職及び氏名） 年 月 日
発注者へこの書面の説明を行いました。 元請業者氏名（法人にあっては名称並びに説明を行った者の職及び氏名） 年 月 日

**特定粉じん排出等作業の概要
石綿排出等作業**

特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の種類	1 吹付け石綿、石綿含有保温材、石綿含有耐火被覆材又は石綿含有断熱材に係る作業 (1) 解体作業 (2) 石綿含有建築材料を掻き落とし、切断し、又は破砕すること以外の方法で除去する解体作業 (3) 石綿含有建築材料の事前除去が著しく困難な解体作業 (4) 改造又は補修の作業 2 石綿含有仕上塗材に係る作業 3 石綿含有成形板等（石綿含有成形板）に係る作業	
特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の実施の期間	自 年 月 日 至 年 月 日	
特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の対象となる建築物等の部分における特定建築材料（石綿含有建築材料）の種類並びにその使用箇所及び使用面積	1 吹付け石綿 (、 m ²) 2 石綿を含有する保温材 (、 m ²) 3 石綿を含有する耐火被覆材 (、 m ²) 4 石綿を含有する断熱材 (、 m ²) 5 石綿を含有する仕上塗材 (、 m ²) 6 石綿を含有する成形板等（成形板） (、 m ²)	
特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の方法	除去・囲い込み・封じ込め・その他（ ）	
特定粉じん排出等作業の方法が法第 18 条の 19 各号に掲げる措置を当該各号に定める方法により行うものでないときは、その理由		
特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の対象となる建築物等の配置図及び付近の状況		
特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の工程を明示した特定工事（特定排出等工事）の工程の概要		
作業の揭示	設置予定年月日	年 月 日
	設置場所	
特定工事（特定排出等工事）の元請業者（施工する者）の現場責任者の氏名及び連絡場所	電話番号	
下請負人が特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）を実施する場合の当該下請負人の現場責任者の氏名及び連絡場所	電話番号	

- 備考 1 解体等工事が特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）に該当する場合に作成すること。
 2 特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の対象となる建築物等の配置図、付近の状況、特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）工程を明示した特定工事（特定排出等工事）の工程の概要については、計画している作業方法等がわかるものを添付すること（作業工程を示す日程表、図面等）

作 業 計 画 書

元請：

1. 工事概要

(1) 工事名称

(2) 工事場所

(3) 工事期間

(4) 発注者

(5) 現場案内図

2. 石綿含有建材除去等作業

(1) 特定粉じん排出等作業の種類

(2) 特定粉じん排出等作業の実施の期間

(3) 特定粉じん排出等作業の対象となる建築物等の部分における石綿含有建材の種類並びにその使用箇所及び使用面積

3. 石綿飛散防止措置

(1) 特定粉じん排出等作業の方法

・作業手順を変更した場合

(2) 特定粉じん排出等作業の対象となる建築物等の概要

(3) 配置図及び付近の状況

4. 工事の工程表

○特定粉じん排出等作業の工程を明示した建設工事の工程の概要

5. 施工体制

(1)元請業者（特定工事を施工する者）

(2)下請業者（下請負人が特定粉じん排出等作業を実施する場合）

(3)体制図

施 工 確 認 書

1 建築物の概要

建築年、延べ床面積	<input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 年、 m ²	
構造	<input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄骨鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック造 <input type="checkbox"/> その他()	
特定石綿含有材料 (吹付け石綿等)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 吹付け石綿 <input type="checkbox"/> 石綿含有吹付けロックウール <input type="checkbox"/> 吹付けひる石(バーミキュライト) <input type="checkbox"/> パーライト吹付け <input type="checkbox"/> 石綿保温材 <input type="checkbox"/> その他()
石綿含有成形板等 (石綿スレート等)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 屋根材 m ² 名称() <input type="checkbox"/> 外壁材 m ² 名称() <input type="checkbox"/> 内壁材 m ² 名称() <input type="checkbox"/> 天井材 m ² 名称() <input type="checkbox"/> 床 材 m ² 名称() <input type="checkbox"/> 石綿含有塗材等 m ² 名称() <input type="checkbox"/> その他 m ² 名称()

2 粉じんの飛散防止対策等

建築物の養生	<input type="checkbox"/> 防音シート <input type="checkbox"/> 防じんシート <input type="checkbox"/> その他() (※施工状況は別図のとおり)
湿潤化	<input type="checkbox"/> 散水(※散水栓の位置は別図のとおり) <input type="checkbox"/> 薬液散布 名称() <input type="checkbox"/> その他()
その他	

3 施工計画

①	<input type="checkbox"/> 標識の掲示(※標識の写しは別紙のとおり) <input type="checkbox"/> 粉じんの飛散防止対策の実施	
②	石綿含有建材の撤去	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用 併用する箇所() 併用する理由()
③	その他上部構造物の解体	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用 <input type="checkbox"/> 機械作業
④	基礎・基礎ぐいの解体	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用 <input type="checkbox"/> 機械作業
⑤	石綿含有建材撤去後の清掃	<input type="checkbox"/> 掃除機(HEPA) <input type="checkbox"/> その他()
⑥	廃棄物の搬出等	<input type="checkbox"/> 原型のまま積込 <input type="checkbox"/> 袋詰 <input type="checkbox"/> シート掛け <input type="checkbox"/> 石綿含有成形板等であることの表示 <input type="checkbox"/> その他()
作業順序 <input type="checkbox"/> 上記①→②→③→④→⑤→⑥のとおり <input type="checkbox"/> その他(→ → → →)		

建築物等の解体等の作業に関するお知らせ

事業場の名称:					
調 査 終 了 年 月 日		年 月 日	発注者又は自主施工者 氏名又は名称(法人にあっては代表者の氏名)		
看 板 表 示 日		年 月 日			
解 体 等 工 事 期 間	年 月 日 ~	年 月 日	住所		
石綿除去(特定粉じん排出)作業等の作業期間	年 月 日 ~	年 月 日			
調査方法の概要(調査箇所)			元請業者(工事の施工者かつ調査者) 氏名又は名称(法人にあっては代表者の氏名)		
調査結果の概要(部分と石綿含有建材(特定建築材料)の種類、判断根拠)			住所		
			現場責任者氏名		
			連絡場所 TEL		
			を石綿作業主任者に選任しています。		
			調査を行った者(分析等の実施者)		
			氏名又は名称及び住所		
			・事前調査・試料採取を実施した者 (資格名称) (氏名) (登録番号) (住所)		
			・分析を実施した者 (所属等) (氏名・登録番号) (住所)		
石綿除去等作業(特定粉じん排出等作業)の方法			その他事項		
石綿含有建材(特定建築材料)の処理方法	除去 ・ その他				
特定粉じんの排出又は飛散の抑制方法					
使用する資材及びその種類					
備考:その他の条例等の届出年月日					